

ASAHI BOND

水性エポキシ樹脂混入下地調整塗材

レジアンダー

レジアンダーは、水性エポキシ樹脂を混和液としたセメント系下地調整塗材です。塗膜防水材料、樹脂系塗床材、エポキシライニング材等の塗り仕上げ材を施工する際に生じるピンホールやクレーター、積層ライニングに生じるフクレ等のトラブルを防止するとともに、各種既存下地に堅固に付着します。

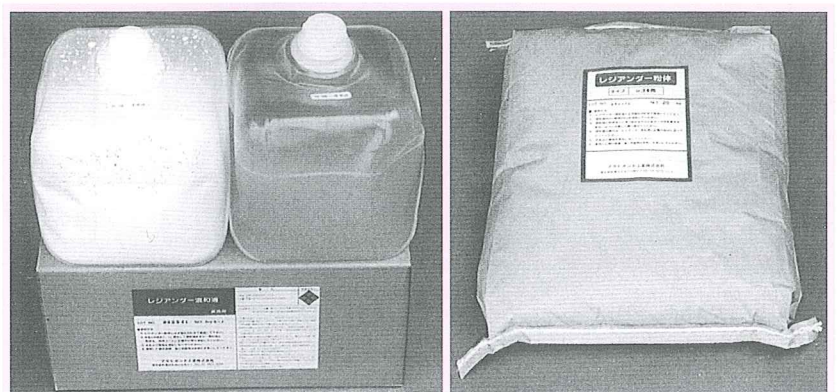
また、混和液を上塗りすることにより、透水性のない下地調整材とすることができます。

特 長

1. ピンホール・クレーター・ふくれの原因となる下地の巣穴・豆穴を容易に修復できます。
2. 各種下地との付着性に優れています。（特にコンクリート・タイル・金属類等）
3. 混和液を上塗りすると、短時間で透水性のない下地調整材となります。
4. 上塗材（ウレタン・エポキシ等）の付着性が良く、プライマーなしでも樹脂塗材がレジアンダーに堅固に付着します。
5. 耐溶剤性に優れ、FRP防水の下地調整材として使用できます。
6. 表面乾燥が早い。
7. 塗りのびが良いので、材料の使用量が少なくて済みます。

用 途

1. 防水改修工事の下地調整
2. 塗床・ライニング工事の下地調整
3. 連続繊維シート工法の下地調整
4. 長尺シート・Pタイル等の下地調整
5. 各種下地と上塗材との仲介接着



■ 性 状

項 目	性 状	
構 成	粉体、A液、B液の3成分系	
主成分	粉 体	水硬性粉体
	A 液	エポキシ樹脂
	B 液	ポリアミドアミン
外 観	粉 体	グレー色微粉末
	A 液	白色液体
	B 液	淡黄色液体
混合比 (混和液)	A液 : B液 = 1 : 1	
混合比 (しごき塗り配合)	粉体 : 混和液 = 5 : 2	
混合比 (プライマー目的のみ配合)	粉体 : 混和液 = 1 : 1	
可使時間 (23℃)	60分	
塗り厚	2 mm以下	

■ レジアンダーの品質

試験項目	単位	測定値	試験方法	
軟 度 変 化	%	13	JIS A 6916	
指触乾燥時間	分	90	JIS A 6916	
耐ひび割れ性	—	ひび割れなし	JIS A 6916	
耐 衝 撃 性	—	ひび割れ及びはがれなし	JIS A 6916	
吸 水 量	g	0.4	JIS A 6916	
透 水 量	ml/h	0.1	JIS A 6916	
付着力	標 準	MPa	2.54	JIS A 6916
	低 温	MPa	2.41	
耐久性	外 観	—	割れ、膨れ及びはがれなし	JIS A 6916
	付着強さ	MPa	2.63	
ウレタン防水層付着強さ (プライマー・なし)	MPa	2.05	JIS A 6916 に準ずる	
エポキシ塗床材付着強さ (プライマー・なし)	MPa	2.51		
FRP防水層付着強さ (プライマー・あり)	MPa	2.30		
透水性 (レジアンダー表面乾燥後混和液上塗り)	ml	0.3	JIS A 6909 透水性B法	

■ 標準使用量

塗り厚	使用量kg/m ²
0.5 mm	約0.85

■ 各種下地への付着強さ

23℃ 2週間養生

下地の種類	付着強さ (N/mm ²)
モルタル	2.54
コンクリート	2.56
ALC	0.58
エポキシ	2.45
ウレタン	2.12
ポリエステル	2.06

下地の種類	付着強さ (N/mm ²)
アスファルトコンパウンド	0.73
ゴムアス	0.70
鉄	2.41
アルミ	2.33
ステンレス	2.30
磁器質タイル (釉薬面)	2.44

■ 施工方法

工 程	要 領	要 点				
下地処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下地面のレイタンス、ごみ、油、脆弱部分等をブラシ、サンダー、洗剤などで取り除き、下地を清浄にして下さい。 ・ 著しい不陸がある場合は、適切な材料で前処理して下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ レジアンダーは一般のポリマーセメントモルタルに比べ、非常に高い保水性をもっているため、通常は水湿しの必要がありません。 				
材料の調合	<ul style="list-style-type: none"> ・ A液とB液を混合用の容器に入れ、均一になるまでかく拌して混和液を作して下さい。 ・ 混和液に粉体を徐々に加えながら練り混ぜて下さい。練り混ぜはハンドミキサー等を用い、泡をできるだけ巻き込まないように注意して行って下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ かく拌時間の目安 混和液の混合 約15秒 混和液と粉体の混合 約3分 ・ 塗りやすい柔らかさに調合してありますが、さらに柔らかくする場合は粉体量を減らして下さい。 				
塗り付け	<p>通常の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕上げ金ごて・ゴムごて・ゴムベラ・ゴムレーキ・ローラー等による塗り付け、またはガンによる吹き付けで、施工面に均一に塗布して下さい。 <p>ピンホールが仕上がりのトラブルとなる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕上げ金ごて、ゴムごて等により、レジアンダーを施工面に押さえつけながらしごき塗りして下さい。 ・ 表面乾燥（1回目の塗布から1～2時間後）になるまで待ち、2回目を1回目と同様にして塗り付けて下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 材料が厚く付いてしまった部分はしごき取って下さい。厚く付いた部分は乾燥が遅くなります。 ・ 2回に分けて塗ると、よりピンホールの発生を押さえることができます。 ・ 連続繊維シート工法、ライニング工法の場合は、必ず2回塗りして下さい。 				
混和液を上塗りする場合	<ul style="list-style-type: none"> ・ レジアンダー塗布後、表面乾燥状態（1～2時間後）になったら、混和液をローラー等により均一に塗布（約0.1～0.15kg/m²）します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常の場合は必要ありません。 ・ 混和液を上塗りすると、透水性のない塗膜を形成します。ただし、硬質塗膜なので、ひび割れの動きには追随しません。 				
養生	<ul style="list-style-type: none"> ・ 塗り付け後の養生は自然乾燥とします。 <p>自然乾燥時の次工程（防水 塗床）までの養生塗り厚0.5mm以下の場合（20℃の場合）</p> <table border="0"> <tr> <td>エポキシ系</td> <td>1～3時間</td> </tr> <tr> <td>2液形ウレタン系</td> <td>2～4時間</td> </tr> </table> <p>塗り厚が厚くなると乾燥時間が長くなります。</p>	エポキシ系	1～3時間	2液形ウレタン系	2～4時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然乾燥の場合は、環境条件、下地の含水率、塗り厚により、乾燥時間が異なります。 ・ 上塗り用のプライマーを塗布しなくても堅固に付着します。 (FRP防水の場合はプライマーを使用して下さい)
エポキシ系	1～3時間					
2液形ウレタン系	2～4時間					

■ 施工上の注意

- ・気温が5℃以下の場合や、降雨・降雪が予想される場合は施工を見合わせて下さい。
- ・低温時や湿度が高い場合は、乾燥時間が長くなる場合があります。
- ・厚塗りをすると、ひび割れが発生する場合があります。

■ 保管上の注意

混和液

凍結しないように注意し、5～40℃で直射日光の当たらない室内に一定の場所を定めて保管して下さい。開封後は密栓して貯蔵して下さい。

粉体

粉体はセメントを含んでいるので、湿気の少ないところにすのこを敷き、床面より離して保管して下さい。

■ 使用上の注意

吸入したり皮膚に触れたりすると中毒やかぶれを起こす恐れがありますので、取り扱いには下記の注意事項を守ってご使用下さい。

- ・レジアンダーが誤って眼に入った場合は、大量の流水で洗浄し、直ちに医師の診察を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合には多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときには直ちに医師の診察を受けて下さい。
- ・作業終了時には手、顔を洗い、うがいして下さい。
- ・材料の付着したウエスや材料カス等の廃棄は廃棄物処理業者に委託して下さい。海、河川、湖沼、池、下水道、公共用水域等への流入及び投棄は絶対にしないで下さい。
- ・本来の用途以外に使用しないで下さい。
- ・詳細は製品安全データシート（MSDS）をご参照下さい。

■ 荷 姿

28kgセット

粉体 20kg 防水紙袋入り

混和液 A液4kg B液4kg ポリ容器入り

1セット8kgとして段ボールに収納



ASAHI BOND

アサヒボンド工業株式会社

本社 社/〒173-0031 東京都板橋区大谷口北町3-7 TEL(03)3972-4929 FAX(03)3972-4856
新工場 社/〒352-0012 埼玉県新座市畑中2丁目16番43号 TEL(048)482-6611 FAX(048)482-6610
大阪出張所/〒544-0011 大阪市生野区田島4-5-28 TEL(06)6753-3541 FAX(06)6753-3543
東北出張所/〒982-0003 仙台市太白区郡山谷地田東14-23 TEL(022)247-4678 FAX(022)247-4678
広島連絡事務所/〒733-0034 広島市西区南観音7丁目12番3号 TEL(082)292-6411 FAX(082)232-4404